

27
クサナギシンペイ
ROOIBOS
2023
116.7 × 91.0
カンヴァスにアクリル
Courtesy of Taka Ishii Gallery

28
クサナギシンペイ
hum (madeleine-I)
2021
65.5 × 53.2
カンヴァスにアクリル
Courtesy of Taka Ishii Gallery

29
クサナギシンペイ
KEEMUN
2023
162.0 × 130.3
カンヴァスにアクリル
Courtesy of Taka Ishii Gallery

30
クサナギシンペイ
UVA
2023
162.0 × 130.3
カンヴァスにアクリル
Courtesy of Taka Ishii Gallery

31
イエンス・フエンゲ
Yoko's Glass
2021
27.0 × 22.1
パネルにアッサンブラージュ、油彩、ビニール塗料、布
Courtesy of the artist and Galleri Magnus Karlsson

32
ニクラス・ホルムグレン
Anusha, double
2021
91.4 × 130.5
カンヴァスに油彩
マリー&フレデリック・エーネクヴィスト コレクション、
ストックホルム

33
小笠原美環
Still 6
2022
70.0 × 70.0
カンヴァスに油彩
Courtesy of the artist and MAHO KUBOTA GALLERY

34
小笠原美環
Still
2022
170.0 × 100.0
カンヴァスに油彩
Courtesy of the artist and MAHO KUBOTA GALLERY

35
CM・ルンドベリ
VANITAS
2018
25.6 × 18.1
カルトんにグアッシュ
山野アンダーソン陽子蔵

36
CM・ルンドベリ
VANITAS
2018
25.5 × 18.0
カルトんにグアッシュ
山野アンダーソン陽子蔵

37
CM・ルンドベリ
VANITAS
2019
22.0 × 16.1
板にグアッシュ
作家蔵

38
CM・ルンドベリ
VANITAS
2020
35.0 × 25.0
カルトんにグアッシュ
作家蔵

39
CM・ルンドベリ
VANITAS
2021
35.8 × 25.6
カルトんにグアッシュ
作家蔵

40
CM・ルンドベリ
VANITAS
2021
25.3 × 35.9
カルトんにグアッシュ作家蔵

41
三部正博
CM・ルンドベリのアトリエに佇むガラス食器
2022
110.0 × 88.0
ゼラチン・シルバー・プリント
作家蔵

42
マリーア・ノルディン
Plateau
2021
61.4 × 40.0
紙に水彩
Courtesy of the artist and Galleri Magnus Karlsson

43
三部正博
マリーア・ノルディンのアトリエに佇むガラス食器
2022
110.0 × 88.0
ゼラチン・シルバー・プリント
作家蔵

44
八重樫ゆい
under the light
2021
20.5 × 25.7,12.7 × 18.0
カンヴァスに油彩（2点組）
作家蔵

45
三部正博
八重樫ゆいのアトリエに佇むガラス食器
2021
88.0 × 110.0
ゼラチン・シルバー・プリント
作家蔵

46
三部正博
伊庭靖子のアトリエに佇むガラス食器
2021
110.0 × 88.0
ゼラチン・シルバー・プリント
作家蔵

47
三部正博
田幡浩一のアトリエに佇むガラス食器
2022
88.0 × 110.0
ゼラチン・シルバー・プリント
作家蔵

48
三部正博
イエンス・フエンゲのアトリエに佇むガラス食器
2022
110.0 × 88.0
ゼラチン・シルバー・プリント
作家蔵

49
三部正博
小林旦典のアトリエに佇むガラス食器
2019
110.0 × 88.0
ゼラチン・シルバー・プリント
作家蔵

50
三部正博
Nov 2021–Sep 2023
24.7 × 16.4（42点）、16.4 × 24.7（52点）
UVプリント 94点

ガラスの器と静物画

山野アンダーソン陽子と18人の画家

Glass Tableware in Still Life

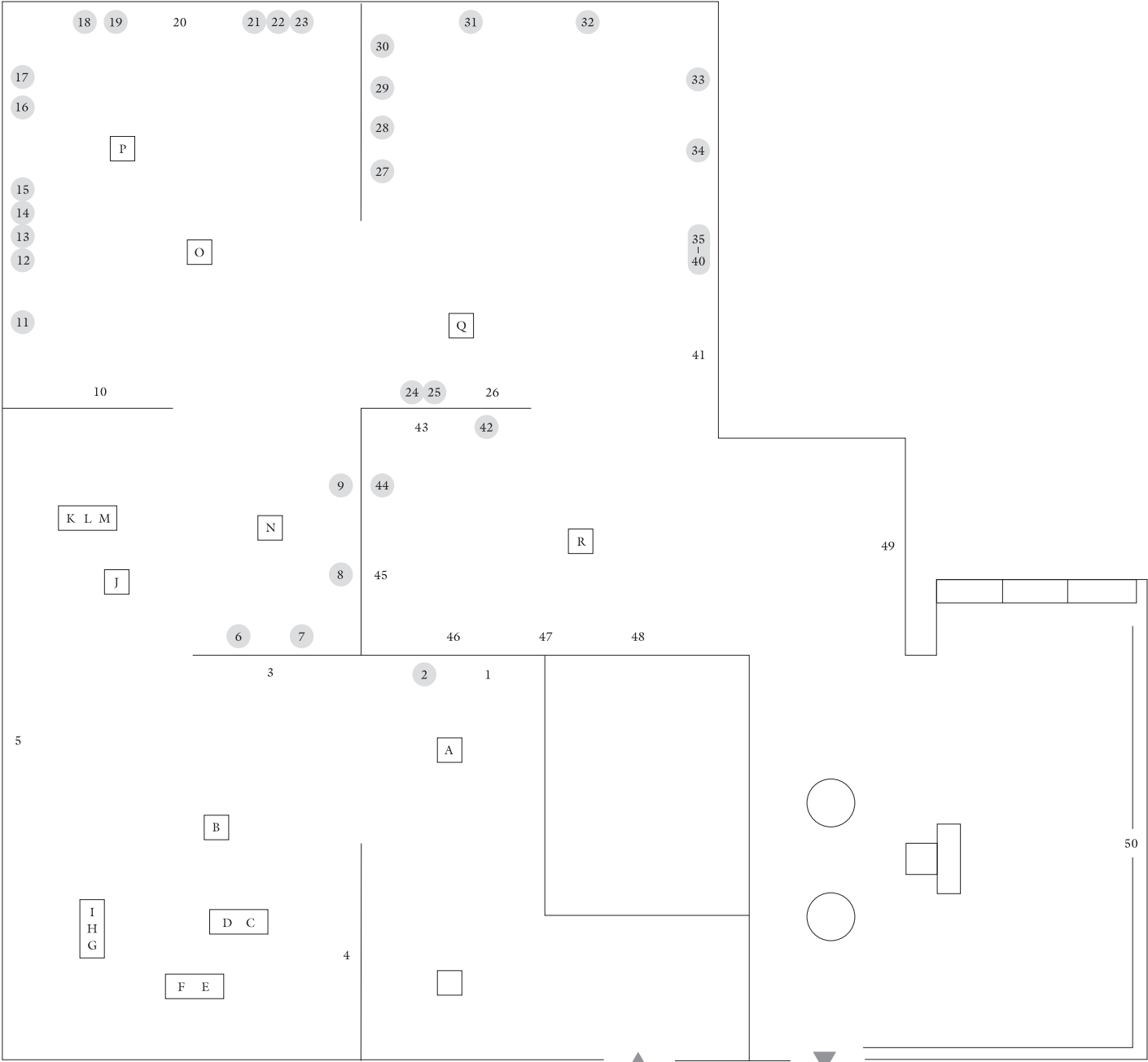
Yoko Andersson Yamano and 18 Painters

会場マップ

作品リスト

2024年7月13日(土) — 9月23日(月・振休)

熊本市現代美術館
Contemporary Art Museum, Kumamoto



凡例

- ・本紙は「ガラスの器と静物画 山野アンダーソン陽子と18人の画家」熊本会場の作品リストである。
- ・ガラス作品にはアルファベットを、絵画、写真、映像作品には数字を付した。会場マップでは、絵画をグレーの丸で示した。
- ・所蔵者から提供された情報に基づき、各作品について、下記の順で記載した。
作家名、作品名、制作年、サイズ（cm）、素材・技法、所蔵、提供
- ・平面作品のサイズは、額を含まない画面サイズを高さ×幅で記載した。
- ・ガラス作品のサイズは、高さ×直径（もしくは幅×奥行）で記載した。
- ・pp. 3-4 には、本プロジェクトにおいて各画家が山野にリクエストした内容の一部を掲載した。

木村彩子

→ A 2

木村さんからの言葉で印象に残っているのは、「花が開く寸前の蕾」「ふっくり」「まっすぐには伸びていない茎」「ゆるやかな動きのある脚」です。
春のような、爽やかで暖かみのあるものをイメージしました。

レベッカ・トレンス／Rebecka Tollens

→ J 6-7

「目を瞑って、辞書を開いて指が見つけた言葉」「フェローシップ（fellowship、共にすることの意）」というリクエストを聞いて、知識や時間の共有、自分と他人が混ざり合うこと、偶然性と必然性を思いました。そこでカクテルを混ぜる「ミキシンググラス」を作ることになりました。バースプーンが、グラスの中にくるくるとメリーゴーランドのように回る様子を見て、自分のところにやってくるカクテルに期待を寄せる感じが、フェローシップのイメージと重なったのです。

アンナ・ビヤルゲル／Anna Bjerger

→ M 8

アンナ B からのリクエストの言葉で印象に残ったのは「牛乳を飲むためのグラス」「小ぶりで、牛乳の冷たさを指で感じられる薄いグラス」です。
それから、過去の作品から植物や虫の印象もありました。
アンナは、焼きたてのシナモンロールやボロネーゼのパスタを食べる時にだけ牛乳を飲むそうで、そのためのグラスを頼まりました。

石田淳一

→ K 9

「背の低めな丸みのあるピッチャー」「柔らかな自然光」「透明感」という言葉が、石田さんからのリクエストの中で印象に残りました。
石田さんの作品にある、人の痕跡のような深みを意識して、なぜか左から入る自然光を想像しながら制作しました。

カール・ハムウド／Carl Hammoud

→ R 11

カールからリクエストの詩が届きました。
英語で書かれたその詩のうち、「三ピース（ボディ・ステム・フット）」
「本と一緒に佇むガラス食器」という言葉が印象に残りました。
それから、「秋」や「夜」もイメージしました。絵の中の彼の本にかかる暖かい光と共存できるグラスを作ることになりました。彼の絵の中には、モチーフとしての本やたくさんの直線がありました。そのまっすぐ伸びた線を見た時、無性にマティーニグラスが作りたくなりました。

田幡浩一

→ P 12-15

田幡さんからのリクエストは、丁寧な文章と共に届きました。
中でも、「牛乳のための器」「日常」「歴史的意味」「差のある二つ以上のもの」「下地の色をほぼそのまま使う」が印象に残りました。
リクエストのメールを読んだ時、ルーヴル美術館で観た
アンリ＝オラース・ロラン・ド・ラ・ポルトを思い出しました。

伊庭靖子

→ I 16-17

伊庭さんからのリクエストで初めにイメージしたのは「半透明の小石のような宝石」でした。ガラス玉の根っこのような。それを蓋に表現しました。
「大事にお菓子を保存する容器」「振出し」という伊庭さんの言葉を読み、恥ずかしながら、「振出し」を調べてしまいました。

イルヴァ・カールグレン／Ylva Carlgren

→ F 18-19

リクエストは、「通常より大きいシリンダーグラス」と「四角いグラス」。
イルヴァは、二種類のグラスそれぞれの光の反射の違いを見たいと言っていたので、光を意識したグラスをイメージしました。

小林且典

→ O 21-23

「私の作品集の表紙に使われているブロンズの水差しのような」というリクエストをもらいました。たくさん話した中で、「横からの景色」という言葉も印象に残ったので、そこも意識して制作しました。この経験が、その後、写真や絵、デザイン画などではなく、言葉のみでリクエストしてもらうことに繋がりました。

アンナ・カムネー／Anna Camner

→ Q 24-25

アンナ C に依頼した時は、コロナ禍による影響もあったので、電話とメールでのみやりとりをしました。彼女はすべてゼロから自由に描きたいそうで、私に描きたいガラスの食器を言葉で説明した後、そのガラスの完成を待たずに描き始めると言われました。面白いので、一人ぐらいそういう方法で描いてくれる人がいてもいいかと思いました。

クサナギシンペイ

→ H 27-30

リクエストを読んだ時、「向こう側を見る『窓』としての器」という言葉が強く残り、幼い頃、飲み終わったグラスの底を見つめながら向こう側の景色を見ていたことを思い出しました。背の低いシリンダー型のグラスにしたかったのです。昔の窓ガラスは、シリンダーを吹いた後に口と底をカットし、パイプ状になったガラスに縦に切れ目を入れたものを再び加熱し直して平たくすることで作られていました。つまり、シリンダーという形は「窓」の原点とも言えます。

イエンス・フエンゲ／Jens Fänge

→ D 31

イエンスからのリクエストを読み込みました。「石楠花（シャクナゲ）の葉っぱの長さのボディー」「ヨーコの小指の長さの直径」「やっとなつめるぐらいのステム」が残りました。そして、自分の小指の長さが五．五センチメートルなのを初めて知りました。

ニクラス・ホルムグレン／Niklas Holmgren

→ E 32

ニクラスからは、「シャンパン、ゴブレット、赤ワイン、白ワイン、シェリーグラス」というリクエストをもらいました。床にグラスが転がっているような、「セットグラス」としてはあまり起こり得ないシチュエーションになりそうで、これは作らなくては! と思い、頼まれたシャンパン、ゴブレット、赤ワイン、白ワイン、シェリーの五脚のセットを作りました。

小笠原美環

→ G 33-34

小笠原さんからのリクエストで心により強く残ったのは、「しずくが細長く伸びて落ちている瞬間」「スローモーション」「軽そうでも重力を感じるカラフェ」という言葉です。光をたっぷりと含んだ水が、粘度を持ってゆっくりと落ちていく様子をイメージしました。

CM・ルンドベリ／Carl Michael Lundberg

→ B 35-40

ミッケは、長めと丸めのピッチャーが一つずつ欲しいと言いました。絵に描きたいというより、家で使いたいからといった理由で頼まれた気がします。

マリーア・ノルディン／Maria Nordin

→ L 42

「できる限り安定感のあるドリンクングラス」という彼女からのリクエストを受けて、「安定感のあるドリンクングラス」とは何かを考えました。水の入った背の低いドリンクングラスが、大きくのっぺりとした白いテーブルにぽつんと置かれている様子を想像しました。

八重樫ゆい

→ N 44

リクエストの言葉から「家にいる時間」「冬の夕飯」「木のテーブル」「それがある食卓の雰囲気」が心に残りました。ニューヨークにいる八重樫さんを思いつつ、自分のスウェーデンでの生活も重ねて、冬の暮らしの場面を想像しながらガラスを作りました。木のテーブルに映るガラスの鈍い影が、冬を意識させる気がしました。



作品リスト

A

山野アンダーソン陽子
Stem for Pink for Saiko Kimura
2021
20.0 × 4.2
吹きガラス
木村彩子蔵

B

山野アンダーソン陽子
One of the Jugs with Handle for CM Lundberg
2017
16.8 × 8.6
吹きガラス
CM・ルンドベリ蔵

C

山野アンダーソン陽子
A Pair of Bowls for an Artist
2021
11.8 × 23.4, 10.0 × 19.8
吹きガラス
作家蔵

D

山野アンダーソン陽子
Stem Glass for Jens Fänge
2020
18.0 × 5.8
吹きガラス
イェンス・フエンゲ蔵

E

山野アンダーソン陽子
Stem Set / Water for Niklas Holmgren
2020
14.3 × 7.0
吹きガラス
ニクラス・ホルムグレン蔵

山野アンダーソン陽子

Stem Set / Red Wine for Niklas Holmgren
2020
15.2 × 5.7
吹きガラス
ニクラス・ホルムグレン蔵

山野アンダーソン陽子

Stem Set / White Wine for Niklas Holmgren
2020
16.5 × 6.1
吹きガラス
ニクラス・ホルムグレン蔵

山野アンダーソン陽子

Stem Set / Cocktail for Niklas Holmgren
2020
14.0 × 9.6
吹きガラス
ニクラス・ホルムグレン蔵

山野アンダーソン陽子

Stem Set / Sherry for Niklas Holmgren
2020
14.3 × 4.9
吹きガラス
ニクラス・ホルムグレン蔵

F

山野アンダーソン陽子
Square Glass for Ylva Carlgren
2020
9.0 × 6.2 × 6.4
吹きガラス
イルヴァ・カールグレン蔵

山野アンダーソン陽子

Drinking Glass for Ylva Carlgren
2020
11.3 × 8.3
吹きガラス
イルヴァ・カールグレン蔵

G

山野アンダーソン陽子
Carafe for Miwa Ogasawara
2021
24.2 x 5.1
吹きガラス
小笠原美環蔵

H

山野アンダーソン陽子
Drinking Glasses NET #01 for Shinpei Kusanagi
2021
9.0 × 8.3
吹きガラス
クサナギシンペイ蔵

山野アンダーソン陽子

Drinking Glasses NET #02 for Shinpei Kusanagi
2021
9.0 × 8.5
吹きガラス
クサナギシンペイ蔵

I

山野アンダーソン陽子
Bottle with Lid / 振出し for Yasuko Iba
2021
13.5 × 3.5
吹きガラス
伊庭靖子蔵

J

山野アンダーソン陽子
Mixing Glass for Rebecka Tollens
2020
19.0 × 8.0
吹きガラス
レベッカ・トレンス蔵

K

山野アンダーソン陽子
Jug with Handle for Junichi Ishida
2021
15.2 × 9.7
吹きガラス
石田淳一蔵

L

山野アンダーソン陽子
Drinking Glass for Maria Nordin
2020
7.3 × 8.0
吹きガラス
マリーア・ノルディン蔵

M

山野アンダーソン陽子
Drinking Glass for Anna Bjerger
2020
8.8 × 6.0
吹きガラス
アンナ・ビヤルゲル蔵

N

山野アンダーソン陽子
Plates with Stem #01_L for Yui Yaegashi
2021
6.5 × 19.1
吹きガラス
八重樫ゆい蔵

山野アンダーソン陽子

Plates with Stem #02_S for Yui Yaegashi
2021
8.5 × 12.9
吹きガラス
八重樫ゆい蔵

O

山野アンダーソン陽子
Jug with Handle for Katsunori Kobayashi
2019
25.3 × 8.9
吹きガラス
小林且典蔵

P

山野アンダーソン陽子
Tall Bottle and Drinking Glass for Kouichi Tabata
2021
18.3 × 6.2, 7.0 × 6.4
吹きガラス
田幡浩一蔵

Q

山野アンダーソン陽子
Bowl for Anna Camner
2020
9.6 × 15.7
吹きガラス
アンナ・カムネー蔵

R

山野アンダーソン陽子
Martini Glass for Carl Hammoud
2020
13.5 × 10.0
吹きガラス
カール・ハムウド蔵

1

三部正博
木村彩子のアトリエに佇むガラス食器
2021
110.0 × 88.0
ゼラチン・シルバー・プリント
作家蔵

2

木村彩子
Stem for pink / 7 May
2021
59.7 × 70.0
綿布に油彩、蜜蠟
作家蔵

3

三部正博
アンナ・ビヤルゲルのアトリエに佇むガラス食器 01
2022
110.0 × 88.0
ゼラチン・シルバー・プリント
作家蔵

4

三部正博
アンナ・ビヤルゲルのアトリエに佇むガラス食器 02
2022
110.0 × 88.0
ゼラチン・シルバー・プリント
作家蔵

5

センナイ・ベルヘ
A Glass Symphony
2023
映像（2分23秒）、ステレオ

6

レベッカ・トレンス
Fellowship / Hexagram 13, T'UNG JEN (I)
2020
70.0 × 90.0
紙に木炭
作家蔵

7

レベッカ・トレンス
Fellowship / Hexagram 13, T'UNG JEN (II)
2021
40.0 × 50.0
紙に木炭
作家蔵

8

アンナ・ビヤルゲル
milk
2021
40.0 × 30.3
アルミ板に油彩
Courtesy of the artist and Galleri Magnus Karlsson

9

石田淳一
アトリエの陽光ー山野アンダーソン陽子のガラス器と私ー
2021
45.5 × 45.5
板に油彩
一番星画廊蔵

10

三部正博
ニクラス・ホルムグレンのアトリエに佇むガラス食器
2022
88.0 × 110.0
ゼラチン・シルバー・プリント
作家蔵

11

カール・ハムウド
Still Life With Books and Glass
2021
40.5 × 50.5
リネンにアクリル、油彩
Courtesy of the artist and Galleri Magnus Karlsson

12

田幡浩一
one way or another (glass of milk and tall bottle) #01
2022
30.0 × 40.0
木製パネルに油彩
作家蔵
Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery

13

田幡浩一
one way or another (glass of milk and tall bottle) #02
2022
30.0 × 40.0
木製パネルに油彩
作家蔵
Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery

14

田幡浩一
one way or another (glass of milk and tall bottle) #03
2023
30.0 × 40.0
木製パネルに油彩
作家蔵
Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery

15

田幡浩一
one way or another (glass of milk and tall bottle) #04
2023
30.0 × 40.0
木製パネルに油彩
作家蔵
Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery

16

伊庭靖子
untitled 2021-15
2021
65.0 × 65.0
カンヴァスに油彩
作家蔵

17

伊庭靖子
untitled 2023-04
2023
65.0 × 65.0
カンヴァスに油彩
作家蔵

18

イルヴァ・カールグレン
the difference is spreading #2
2021
147.0 × 100.0
紙に水彩
作家蔵

19

イルヴァ・カールグレン
the difference is spreading #1
2021
147.0 × 100.0
紙に水彩
作家蔵

20

三部正博
イルヴァ・カールグレンのアトリエに佇むガラス食器
2022
110.0 × 88.0
ゼラチン・シルバー・プリント
作家蔵

21

小林且典
静物理学
2019
49.0 × 34.9
紙に水彩
作家蔵

22

小林且典
静物理学
2022
50.3 × 37.2
紙に水彩
作家蔵

23

小林且典
静物理学
2022
50.6 × 37.8
紙に水彩
作家蔵

24

アンナ・カムネー
Alien
2023
35.0 × 30.0
アクリル板に油彩
作家蔵

25

アンナ・カムネー
The Naked Dive
2020
30.0 × 25.0
アクリル板に油彩
ヤン・ヨハンソン蔵

26

三部正博
アンナ・カムネーのアトリエに佇むガラス食器
2022
110.0 × 88.0
ゼラチン・シルバー・プリント
作家蔵